

- 発行：ライフ・ホープ・ネットワーク ●事務局：〒454-0023 名古屋市中川区石場町2-23-2 ●TEL：052-363-3393
- Email：support@lifehopenet.com ●Website：<http://www.lifehopenet.com/>
- 郵便振替：00850-5-131374「ライフ・ホープ・ネットワーク」 ●カフェモナミ：〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-29-13

◆この半年間のわたしたち◆

LHNのこの半年間の歩みをダイジェスト版でお届けします。「コロナ禍」で2年目を迎えた今年。さまざまな状況の変化がありながらも、ホームステイや相談者が与えられ、カフェの運営が続けられていることは大きな恵みです。財政的なサポートやお祈りを続けてくださっている皆様、本当にありがとうございます。



1月

待ちに待った新しいホームステイ！新しい一年が動き出しました。



3月

春のベビーラッシュ！2人のホームステイがかわい
い赤ちゃんを出産しました。



2月

「にんしんSOS愛知」の相談員さん向けの研修会。住む場所に困っている妊婦さんを一時的に受け入れる際の注意点等をお話させていただきました。



3月

全国妊娠SOSネットワーク主催の研修会に参加。予期しない妊娠への相談対応について専門的な知識を深めることができました。



2月

カフェ・モナミで『愛しきいのち展』が始まりました。地元の中学校の特別支援学級に通う生徒さんたちと先生の作品が明るく店内を彩ります。



4月

LHNのホームページのリニューアル。私たちがどんなグループなのか、助けを必要としている人たちによりわかりやすく、親しみやすく伝わるページになりました。是非一度ご覧ください。



5月

特別養子縁組に関わる活動をしている女性たちと、ダウン症の子の養子縁組についてのアドバイスと意見交換をしました。



6月

中絶しか選択肢がない状況で困っていた女性の
出産の決断を助けることができました。また、
新しく2人の女性のLHNでのホームステイが決ま
りました。

本を 差し上げます！



近年、高校生など十代の相談者からの「妊娠してしまったかもしれない」という不安の電話やメールを受けることが多くなってきています。若者の間で体の関係を持つことについて十分な教育がない現状に対し、私たちにできることが何か探していたところ、とても良い本に出会うことができました。

▶テモテ・コール著『2つのドア よいことをえらぶには』ファミリー・フォーラム・ジャパン

この本には性について直接的な表現はありませんが、2人の王子様の成長物語から、自制心と責任感を自然に学ぶことができます。

今回、出版社のご好意により特別価格で購入することができました。

サポーターの皆様 **お一人につき1冊に限り、無料で** 差し上げます。

ご希望の方は support@lifehopenet.com までご住所をお知らせください。

対象年齢の目安は5-13歳です。親子で一緒にお読みいただき、このトピックについて話す良いきっかけにさせていただくこともできます。多くの皆様にご活用いただけることを心待ちにしております。

特別養子縁組を選んだホームステイのインタビュー

Q1. 妊娠がわかった時、どんな気持ちでしたか？

不安でした。一人目を出産してまだ1年しか経ってなくて、誰に相談したらいいんだろう…と思いました。

Q2. なぜライフ・ホープ・ネットワークに来ましたか？

児童相談所が探してくれました。妊娠中一人で生活するのは難しかったので、ホームステイすることになりました。

Q3. ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

最初は緊張したし、不安でした。人の家にホームステイするのは初めてだったし、外国人の家だと聞いていたので…。でもシンシアさんもマイカくんも明るくて、過ごしやすい場所でした。

Q4. なぜ養子縁組を選びましたか？

本当は自分で育てたかったのですが、相手と連絡が途絶えてしまい、親子育てを手伝える状況ではなかったため、一人では育てられないと思いました。

出産して、これからのことを入院中に色々考えました。赤ちゃんは幸せになれるかなとか…。赤ちゃんとは入院中しか一緒にいられてなくて辛かったけど、5日間、一緒にいることができてよかったです。



Q5. これからのことについてはどうですか？

実家に戻ります。仕事を探して、きちんと生活ができるようにして、乳児院にいる上の子を早く引き取ることが目標です。

養子縁組に託した下の子も、幸せになることを願っています。

Q6. 同じような状況の方にメッセージはありますか？

ホームステイは最初は不安があったけど、生活していくうちにシンシアさんやマイカくんの優しさが伝わって、自分の家のように生活しやすかったです。来てよかったと思える場所でした。

シングルマザーになったホームステイのインタビュー

Q1. 妊娠がわかった時、どんな気持ちでしたか？

びっくりしました。妊娠5ヶ月ぐらいになるまで気づいてなくて、前日まで働いていました。相談する人もいないし、どうしようと思いました。

Q2. なぜライフ・ホープ・ネットワークにきましたか？

お金がなかったので病院にも行けず、初めての妊娠だったので痛みがあっても陣痛かわからなくて、寮のお風呂場で出産しました。救急車で運ばれた病院の看護師さんにパンフレットをもらって、退院後すぐにLHNに来ました。

Q3. ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

楽しかったです。以前ここでホームステイをして出産したことのある友達がいて、来る前にどういう場所なのか少し教えてもらいました。

Q4. これからのことについてはどうですか？

実家に帰って、シングルマザーとして子育てをします。妊娠したことは両親には言えずにいて、出産後に伝えました。伝えるのは恐かったけれど、一緒に子育てをしてくれると言ってくれました。少し年上のいとこも近所に住んでいて、助けてくれると言っています。まずは子どもの保育園と自分の仕事を見つけることが目標です。



Q5. 同じような状況の方にメッセージはありますか？

ホームステイの生活は楽しかったです。妊娠がわかった時もっと早くライフ・ホープ・ネットワークについて知っていればよかったと思います。

アナの近況

第45号ニュースレターで、元ホームステイのアナのために祈りいただけるようお願いしました。昨年2月にビザの都合によりフィリピンに帰国したアナと娘のシンシアは、今フィリピンで元気に暮らしています。アナは音楽ミニストリーのための神学校に通い始め、優秀な成績で1年目を終えました。現地でのコロナウイルスの感染拡大、安全な住居や安定した仕事を見つけることの困難さなど、さまざまな課題を一つ一つ乗り越え、希望を持って生きています。サポートくださっている皆様に感謝申し上げます。

日本への再入国の手続きは、感染症拡大によりなかなか進めることができない状況です。引き続きお祈りいただければ幸いです。

